

CIRAS センター共同研究ワークショッププログラム

「地域研究の新たな冒険－変動する社会を歴史の中で読み解く」

日時:2019年2月16日(土) 14時00分～18時00分


場所:稲盛財団記念館 3階中会議室

趣旨

学術研究一般に対するのと同様、地域研究に対しても、研究のプロセスと成果が厳しく問われるようになってきた。教育・研究機関において、学生や若手研究者を対象とした一定の教育・研究プログラムが整備され、短期間で効率的に、国際的な基準をクリアした研究成果を継続的に出し続けることのできる体制が整えられてきた。それにより、より多くの人々が一定の基準の研究プロセスを体系的に学ぶことができ、より多くの研究成果が生まれる下地作りが進められていることは、学術研究にとっても一般社会にとっても、実に大きな成果である。しかし、あたかも「工業製品」のように作り出される成果と異なり、いまだ標準化が困難で、時間のかかる手作業によってはじめて生み出される成果もまた存在する。学術研究の中でも地域研究という営みは、対象とする地域社会の多様性や歴史を反映し、研究プロセスの標準化が特にむづかしい分野だと考えられる。しかしそのことはまた、地域研究は、未知の研究領域や課題が残されたチャレンジングな分野であることも意味するであろう。

今回のワークショップでは、標準化が困難で時間のかかる手作業としての地域研究の研究プロセスに焦点をあて、対象とする地域の長期の歴史をどのように地域研究の現代的な課題と関連づけているのかについて考える。地域社会に積み重ねられた長期の歴史の中で変わるものと変わらないものをどのように読み解くのか。それは、歴史の中から今を読み解く際にも、今現在の姿から過去の歴史を読み解く際にも重要になる。

プログラム

14:00～14:10	趣旨説明 柳澤雅之(東南地域研)
14:10～14:50	マレーシアの政権交代－メディアと大衆 山本博之(東南地域研)
14:50～15:30	インドネシアの津波と内戦－信仰と共生 西 芳実(東南地域研)
15:30～16:10	ベトナムの出稼ぎと農村経済－親密さと豊かさ 柳澤雅之(東南地域研)
16:10～16:30	Coffee Break 
16:30～17:00	コメント 岡田泰平(東京大学大学院総合文化研究科) 三重野文晴(東南地域研)
17:00～17:30	総合討論
17:30～	閉会のあいさつ

問合せ先:CIRAS センター事務局

ciras@cseas.kyoto-u.ac.jp